

る。一に入れる。一部原料プロシエクトは、台湾プラスGケミカルスは、2021に入社した。ベトナムで新150万を事業化し内37万を同様にエチレ

【上海「吉水曉」国際リチウムイオン2次電池(LiB)工業展覧会が25日、上海市内で3

日間の日程を終え閉幕した。急速な勢いで成長する中国のLiB市場において、とくに目立っ

たのが高い技術力を持つ日系をはじめとした外資系製造装置メーカーだ。高機能化へ市場ニーズの軸足が移るなか、台頭する中国のLiBメ

ーカーに積極的にアピールした。

「今回が中国で初めて出せるのが特徴だ。正のお披露目になる。島川 極材向けとしては日本で製作所の島川社長は、20年を超える歴史がある

こう目を細めた。今回、同社が出展したのはLiBの正極材の製造工程で用いるロータリーキルン。前駆体の酸化処理や正極材の前焼成などの4

プロセスで使う装置だ。工業用乾燥機や熱処理キルンの内部構造を工夫し、回転回数などを最適化。材料の滞留時間を制御することができ、効

率は高く精密な正極材を作 は「条件出しを行うため

上海で国際LiB工業展開催

日系メーカーが存在感

ロータリーキルン 乾式コート装置など

の設備も擁している(橋本彰工場長)。車載用LiB市場の拡大を背景に、より高い品質と安全性を兼ね備えた正極材の生産に役立つとして早期の案件獲得を狙う。

そのなかで、ニーズが高まっている(同)として提案に力を注ぐのが乾式コート装置だ。正極や負極にシリコンな

溶剤乾燥工程が不要となつたためプロセスの簡略化につながるメリットを強調する。

中国ではVOCの規制強化が進んでいることもあり、溶剤を利用しないプロセスへの関心も高いという。機能性の向上を

目指としたグラフェンの添加も中国で盛んなことなど必要なプロセスを一体化。ワンストップで提供可能

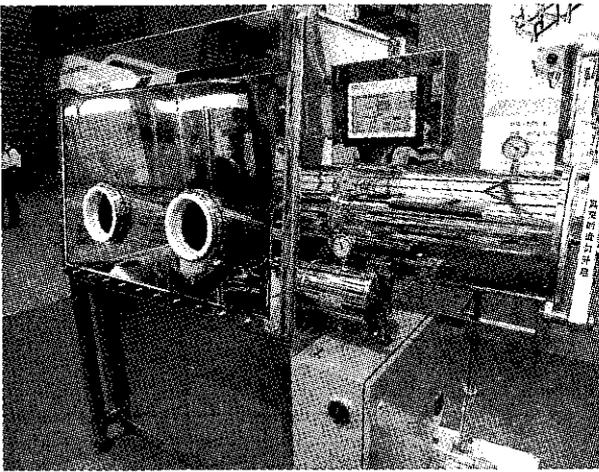
なシステムとして

欧米系では、ドイツのマイクロナがLiB一体生産ライン装置を展示、

原料の投入から乾燥

する必要はない

マイクロナのIoT対応型グローブボックス



独社はIoT対応システム訴求

た。

とくにキーワードとして前面に掲げたのが、モノのインターネット(IoT)。さまざまな端末と接続可能で、生産の効率化や省力化に結びつくと

している。中国市場で強い支持を得ている」と同社の担当者は胸を張る。

豊富な実績、経験を有する各社だが、共通して指摘していたのは中国LiB市場ではラインの大型化が進んでいることだ。車載ニーズが広が

っていることが理由で、これにともない装置もそれに合わせた方式で提供する必要

がある。島川社長は「日本よりも大型の案件が多い。うまくすり合わせ、使ってもらえるようにできるかが課題だ」と指摘する。

島川社長は「日本よりも大型の案件が多い。うまくすり合わせ、使ってもらえるようにできるかが課題だ」と指摘する。